

鳥取地震の概要

発生日時：1943年9月10日 17時37分頃

震央：北緯35度28分 東経134度11分

深さ：0km 地震の規模：M7.2 最大震度：6（注：当時の最大震度）

鳥取地震は鳥取県東部を震源域とした陸地の浅い地震で、鳥取測候所（気高郡湖山村、現鳥取市）で震度6を観測した。最大余震（M6.2）は、本震の翌日に発生している。この地震の約半年前の3月4日と5日に鳥取地震とほぼ同じ場所で、M6.2の地震が発生していた。

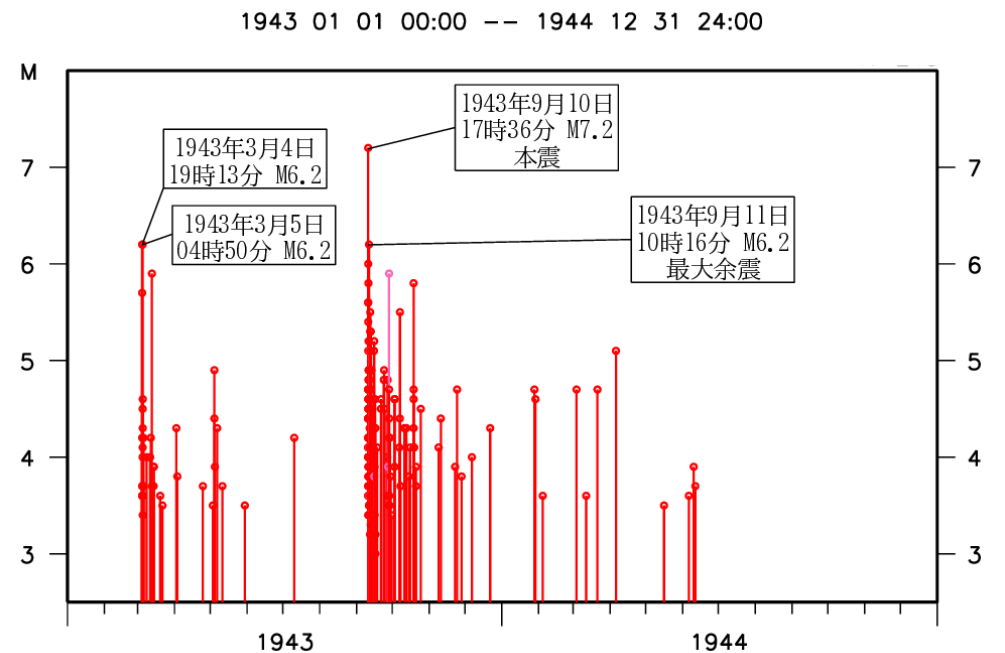
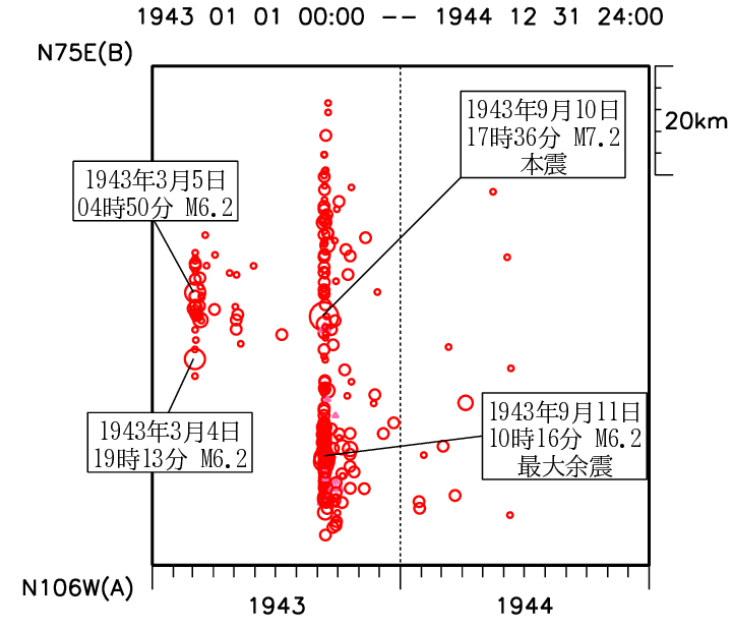
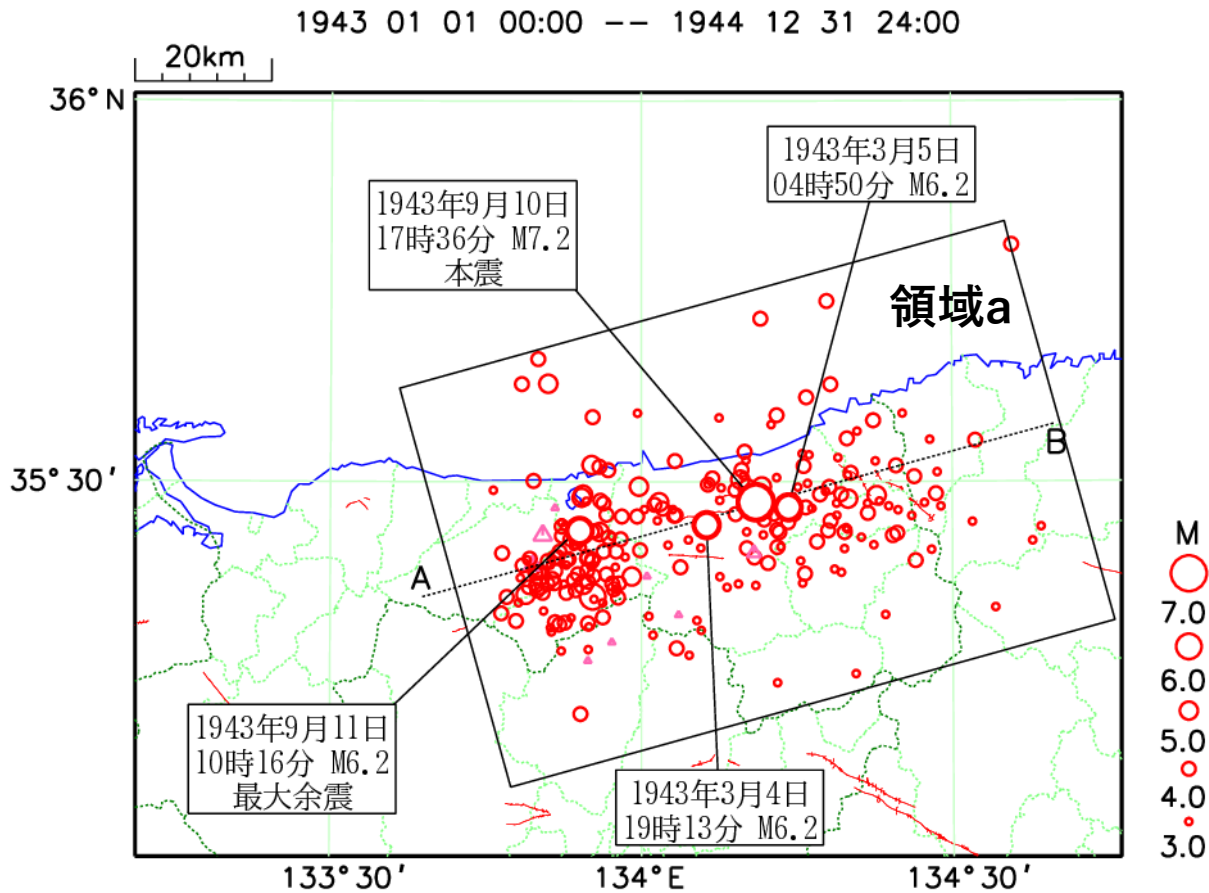
この地震により鳥取市街の南西に広がる丘陵部で地表にずれが現れ、当時の東京帝国大学地震研究所が調査に当たり、後に鹿野－吉岡断層と命名された。

被害は主に鳥取平野の地盤の弱い地域に集中し、多数の家屋が倒壊した。また、炊事が行われていた時間帯であったため、複数箇所から出火し被害に拍車をかけた。



鳥取市内で倒壊を免れたビル。手前は倒壊し火災に襲われた木造家屋の残骸

鳥取地震の活動状況



上図は1943年～1944年にかけての震央分布図。

($M \geq 3.0$ 、深さ 0～60km)

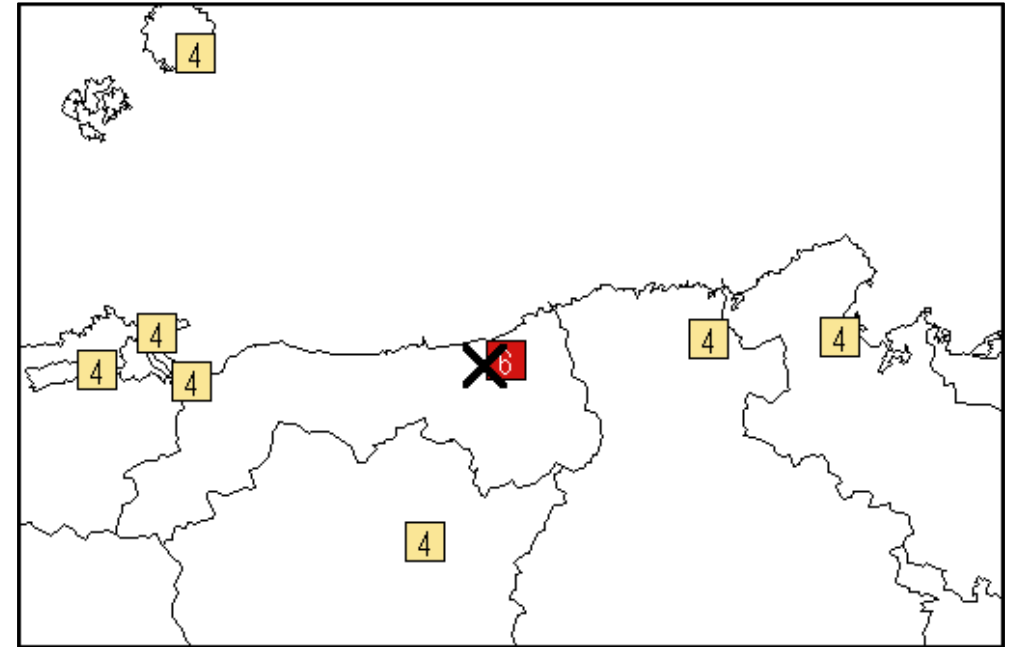
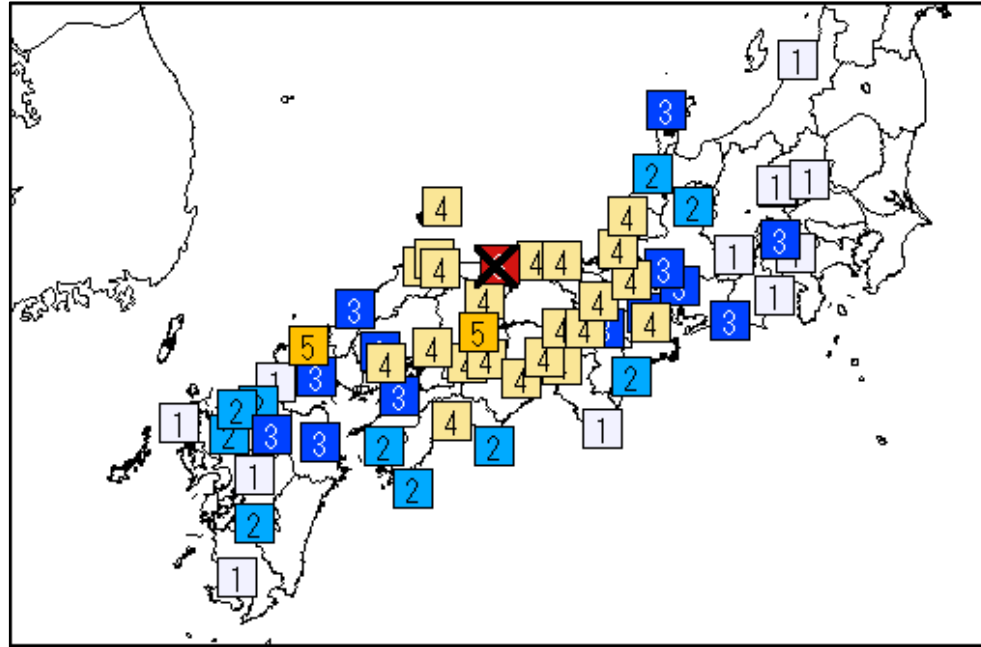
右上図は領域aにおける時空間分布図

右下図は領域aにおける規模別地震活動経過図

鳥取地震の震度

震度分布図

左：全体図
右：鳥取県周辺



各地の震度（震度4以上）

鳥取県 震度 6 : 鳥取
震度 4 : 米子、境
岡山県 震度 5 : 岡山
震度 4 : 津山
山口県 震度 5 : 萩
福井県 震度 4 : 福井、敦賀
三重県 震度 4 : 津
滋賀県 震度 4 : 彦根

京都府 震度 4 : 京都
大阪府 震度 4 : 大阪
兵庫県 震度 4 : 豊岡、神戸、洲本
和歌山県 震度 4 : 和歌山
島根県 震度 4 : 松江、西郷
広島県 震度 4 : 福山、呉
徳島県 震度 4 : 徳島
香川県 震度 4 : 高松、多度津
高知県 震度 4 : 高知

鳥取地震による被害

被害は軟弱な地盤の広がる鳥取平野に集中した。全体的な被害は死者1,083名、負傷者3,259名、家屋全壊7,485などの被害が生じたほか、土木構造物への被害もあった。

都市別	死	重傷	軽傷	全壊	半壊	全焼	半焼
鳥取市	854	544	1,988	5,754	3,182	250	16
岩美郡	56	12	137	694	916		
八頭郡	49	11	15	3	28		
気高郡	120	100	450	1,014	1,703	1	
東伯郡	4	2		20	329		
計	1,083	669	2,590	7,485	6,158	251	16

(参考文献：東京大学出版会「新編 日本被害地震総覧」)

被害写真 (当台所蔵)



湖山村の家屋被害



線路の捻じれ



地割れ



液状化による噴砂